

# 日風堂

〈高知県立歴史民俗資料館だより・おこうふうじつ〉 第120号 令和5年(2023)6月20日

## 資料見聞

### 猿の群像(香泉人形)

ウホウホと楽しげに身を寄せ合った猿の土人形です。郷土玩具作家の山本香泉さん(1893~1963)が作りました。「香泉」は号で、本名は萬壽猪さんです。

戦後、大阪から高知へ引き上げてきた香泉さんが収集家の城田政治さんを訪ねた折に「郷土玩具の製作をしてみたい」と語ったところ、城田さんが激励したという「香泉人形」のはじまりのエピソードが、『土佐のおもちゃ』

に紹介されています。

香泉さんは、まず猿の群像を作り、城田さん宅へ大小10数個持参しました。城田さんが、それらを東京のおもちゃの会で配布したところ、「高知は土物が無いので楽しみ」と言われて好評だったと香泉さんに伝えます。それ以降、香泉さんは尾長鶏やチャボ、つれづれなどさまざまなモチーフの土物を作り出し、めざましく活躍したと、城田さんは述懐しています。

香泉さんにとって城田さんの応援は大いに励みとなったことでしょう。

城田さんのコレクションには高さ10cm程の猿の群像が2点ありますが、本



猿の群像(香泉人形) 山崎茂氏寄贈郷土玩具コレクション 当館蔵

品は、城田さんの次代の収集家、山崎茂さんのコレクションの中のひとつです。

高さ22cmの土人形で、微笑む大猿に小猿が群がり、猿の親子といった風情です。山崎さんの情熱的な収集によって残った一品です。

それにしても、香泉さんは、な

ぜ最初に猿の群像を作ったのでしよう。先述のエピソードは昭和23、24年頃のことです。子年、丑年です。申年生まれでもありません。

猿の群像は、体毛がない顔の部分を赤く塗り白い線で隈取りした彩色や、猿を複数組み合わせた形に住吉土人形や堺湊土人形の、喜々猿や組み猿、千匹猿のおもかげがみられます。してみると香泉さんは暮らしていた大阪の郷土玩具から猿の群像の着想を得たのかもしれません。

郷土玩具には他所の影響がみられるものが多くありますが、地域性や作家の個性もあらわれます。

花鳥画の名手として知られた父の南部錦溪に早くから手ほどきを受けたという、日本画家でもある香泉さんの作品は、筆遣いが巧みで彩色に妙があります。

郷土玩具の多くは産地名が冠されており、作家名がつくものは相良人形やれんべい人形など数が少なく、際立っています。

香泉人形には、二代目が高知から信楽に移り住んだため、その後の作品を土佐土人形と呼ばなくなったという経緯があります。とはいえ、作家の号に由来する名前はずらしく、個性的なその作品にふさわしい名前のように思われます。

(中村淳子)

REKIMIN ZOO

企画展

# おもちゃ動物園

2023令和5年  
7.14(金)〜9.3(日)

**出会う動物**  
ゾウ、シカ、クマ、ネズミ、ウシ、トラ、ウサギ、リュウ、ヘビ、ウマ、ヒツジ、サル、トリ、イヌ、イノシシ、キツネ、タヌキなど

中村 淳子

この夏、当館の企画展示室で「おもちゃの動物園」が開園します。おもちゃの動物園には、どんな動物がいるのでしょうか。それは、郷土玩具という昔ながらのおもちゃの動物たちです。

1万点所蔵し、企画展やコーナー展で紹介してきました。今回は約300点の動物玩具を展示します。

### この子ども、高知の子

右上のタイトルを囲んでいる4点は、高知県生まれです。

■郷土玩具ってなあに？  
郷土玩具は、日本各地で、紙や木、土などの身近な素材で手作りされ、伝えられてきたおもちゃです。素材でかわいらしく、見ているとほのぼのと和みます。

当館は収集家の山崎茂さんと城田政治さんから寄贈された郷土玩具を約

虎をはじめ郷土玩具には、干支の動物がたくさんいます。来年の辰年にち

なんだ龍という想像上の生物がいるのは、おもちゃの動物園ならではのです。

右上は木彫りの鴛鴦です。鴛鴦はスズメ科の鳥で、菅原道真が好んだ梅の木に寄つてくることから道真をまつる鳥とされます。

正月の鴛鴦え神事では、「替えまじよ、替えまじよ」と暗闇となえながら参拝者が鴛鴦を交換します。これで、一年間の嘘と誠を取りかえるとされています。この木鴛は高知市の潮江天満宮の授与品です。

右下には、親子猿がいます。安芸市で高村光紅さんが作っていた安芸土鈴です。土鈴は、土製の鈴で、振るとコロコロ、カラカラと音がします。

郷土玩具好きは、干支物をコンプリートするのも楽しいものです。干支を一巡して新種に出会えたら嬉しさが入ります。安芸土鈴には、親子猿のほか

## 会期中 まいにち

のお楽しみを  
紹介するよ

ホッホッホ



飼育員 ふくみん

**れきみんZOOギャラリー**  
おもちゃの動物をかこう！  
ギャラリーに展示するよ

**動物園カレンダーのみやげもん**  
asakozirusiの消しゴムはんこでオリジナルカレンダーをつくろう  
あなただけの動物園ができるよ

**どこにいるかな？動物地図パズル**  
大きな日本地図に47都道府県のピースをはって動物地図を完成させよう

**おもちゃの動物クイズ**  
さて問題です！  
わたしのモデルは誰でしょう。  
①お鷹ぼっぽ ②ふくろう笛  
③うそ …という感じのクイズだよ

に「見ざる言わざる聞かざる」の三猿もいました。

左下は、土佐和紙漆喰張り子の鬮犬です。土佐和紙の里、いの町の草流舎で、田村雅昭さんと多美さんご夫婦が作っている郷土人形です。郷土玩具の多くは鮮やかな彩色ですが、土佐和紙漆喰張り子は、弁柄や泥藍に土佐漆喰をまぜた「漆喰絵の具」を使った淡い彩色が独特です。



ウソ

太宰府天満宮の鷹（福岡県）  
正月の鷹替え神事に授与される。  
大きく羽根を広げている。  
羽根は削り掛けという手法で作られている。



クマ

木彫りの熊（北海道）  
北海道土産として知られている。  
鮭をくわえている。  
ノミの彫りあとが味わい深い。



ネズミイノシシ

美江寺の土鈴（岐阜県）  
お蚕祭りの縁起物の土鈴。  
もとは蚕室で鳴らしてネズミ  
除けにしたもの。  
宝珠型や釜型、米俵型などがある。  
釜型の本品には、干支の動物が  
ぐるりと描かれている。



ネコ

六原張り子 じょじょ猫（岩手県）  
じょじょ（下駄）の上でオヤスミ中。  
おもしろい発想の作品が多い六原張り子。  
下地の胡粉を塗らず、素朴な趣き。



へび

大山阿夫利神社の竹蛇（神奈川県）  
神社の参道で売られていた土産物。  
つなぎ合わせた竹でクネクネくる。  
昭和52年（1977）の年賀切手のモチーフ。



クジラ

鯨車（和歌山県）  
江戸時代から捕鯨が盛んだった地方で作られてきた。  
木製で、四輪の車が付いており、転ばして遊べる。



ウマ

中野土人形 飾り馬（長野県）  
ひな市で有名な中野の土人形。  
飾り馬は美しい馬具で飾られ、  
祭りで神輿の供をしたり、  
新年の初荷を運んだりする。

当館では平成23年（2011）の卯年  
年から、草流舎のみなさんを干支の張  
り子に絵付けするワークショップの講  
師としてお招きしています。戌年は闘  
犬がモチーフだったので、この闘犬に  
は参加者が絵付けした兄弟犬が何十匹  
もいますよ。

見る、知る、遊ぶおもちゃの動物

おもちゃの動物園には、高知県のほ  
かにも日本各地の動物園玩具がたくさん  
あります。動物園風に里や森、草原など  
のゾーンに分けて展示します。郷土玩  
具の作り手が、どのように動物の特徴  
をとらえているかなど表現のおもしろ  
さを楽しみ、かわいいポイントをみつ  
けましょう。

郷土玩具は、土地土地の生活の中か  
ら生まれ伝えられてきた「暮らしの玩  
具」であり、人々の願いが込められた  
「祈りの玩具」でもあります。

そうした郷土玩具の豊かな世界を、  
日本郷土玩具の会会長の中村浩記さん  
が、8月20日（日）の講演会「動物と  
郷土玩具―生息地とご利益―」で、当  
館にてたっぷり語ってくださいるので、  
ぜひご聴講ください。

会期中は毎日、カレンダー作りやお  
絵かき、パズルやクイズなど遊び心  
いっぱい企画をご用意して、おも  
ちゃの動物たちとお待ちしています。

# おもちゃの動物園コラボ展 動物玩具を描く

中村 淳子

絵を描いて郷土玩具をじっくり見てもらいたい、描くことを楽しんでいただきたい！と思い、これまでの郷土玩具の企画展ではお絵かきシートを作ってきました。天衣無縫な子ども達の絵や超絶技巧の匠の絵など、みなさんが描いたものを展示し、それを鑑賞する場にもしてきました。

今回の企画展でも「れきみんZOOギャラリー」に展示しますので、お気に入りの郷土玩具の記念の1枚をぜひ描いてみてください。

さらに、高知県在住の3人の作家に



「山形張子 玉乗り兎」配色がシックなasakozirusi尾崎浅子さんの作品。グレーの背景に、玉や耳の朱色と紐の紺色が効いている。バランスを取るように曲げた足をはじめ表現はシンプルにして再現度が高く、愛が深い。

よる動物モチーフの郷土玩具の絵を展示する、素敵なコラボ展をお届けします。

## ■郷土玩具愛が深い彫り

asakozirusiの尾崎浅子さんは、消しゴム版画家です。作品には植物や鳥、郷土玩具などのシリーズがあります。

無類の郷土玩具好きで、主に旅先で気に入った郷土玩具を購入し、思い出と共に飾って楽しむスタイルです。当館の郷土玩具展にも毎回来場され、平成27年度企画展「おさるの楽園」では、楽園の植物のテキスタイルやポスターなどをデザインしていただきました。また、平成30年度企画展「郷土玩具にみる明治のおもかげ」のコラボ展では尾崎さんの郷土玩具シリーズを展示し

ました。今回は、動物玩具から特に好きなものを選びたくさんの作品に仕上げられています。

## ■郷土玩具のイラスト

梶原希美さんは、イラストレーターです。「JPN47につぼん絵図」のイラストなど、取材に裏付けられたわかりやすい線画が持ち味です。ウェブマガジン「四国大陸」の「四国一見記」は、描き込まれた線画と情報量の多い文字が渾然一体となった構成が光っていました。

梶原さんも郷土玩具好きで、インスタグラムに郷土玩具のイラストをアップしています。線画のほか、水彩画など多彩な作品を発表されていますが、今回はどのようなアプローチでの作品なのか、ぜひ会場でご覧ください。

## ■花咲く動物玩具

横江孝治さんは、現代美術の作家です。世界観を意識した作品の制作を続ける傍ら、展覧会の主催や運営をされています。



「布引牛」横江孝治さんのファンキーな作品。モチーフは、「牛に引かれて善光寺参り」の長野県の善光寺土産。車が付いたところがおもしろいから選んだという。牛のお尻に花を咲かせている。

超現実的な「The distorted world」や、記憶と忘却をテーマにした「変容と定着」などのシリーズはクールで、いささか難解ですが、動物などを踊りながら描く「Dance-drawing」といったユニークなシリーズもあります。

そんな横江さんが、はじめて出会った郷土玩具の動物をフレッシュな感覚で描いています。

作風も郷土玩具との距離も異なる三者三様の表現を、モデルになった郷土玩具と併せてお楽しみください。

### 3階総合展示室コーナー展

## 牧野富太郎をとりまく人々

### ― 寺石正路と堀見家 ―

後期展 令和5年6月17日(土)～9月18日(月・祝)

青井 恵理香

牧野富太郎をモデルとしたNHK連続テレビ小説「らんまん」の放送を記念して、当館では、3階総合展示室にてコーナー展「牧野富太郎をとりまく人々―寺石正路と堀見家―」を4月1日(土)から開催中です。

6月17日(土)からの後期展では、富太郎の出身地である佐川町の名士であり、富太郎と共に自由民権運動で活動した堀見家の人々と富太郎の交流を、当館所蔵資料から紹介いたします。

#### ■佐川町の名士「堀見家」

堀見氏は、「堀見家系」によると元々、慶長年中、美濃国太郎丸の城主・深尾重良に従い、佐川に移住したとあります。

宝暦年中に深尾家が財政不振に陥った際は、米3百石を献納し、以後、三代に渡って勘定方を勤め、財政の立て直しを図りました。

戊辰戦争の際には、高知城三の丸で山内豊範に拝謁し、山内氏の直臣となり、活躍。明治以降は学校その他を援助し、数々賞せられたということです。

紀伊国(和歌山県)にルーツを持つ牧野家もまた、文禄・慶長年中に佐川へ移住してきました。縁とは不思議なもので、それぞれ、土佐国から離れた場所にルーツを持つ両家の付き合いは、深尾家の家臣として、佐川村で出会ったことがきっかけとなるようです。

#### ■牧野富太郎と自由民権運動

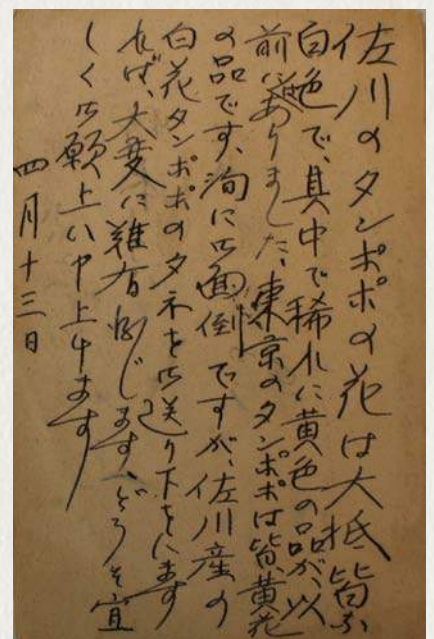
富太郎は晩年執筆した自叙伝の中に、自由民権運動家としてどのように活動をしたのか、当時のことは詳しく残していません。

佐川史談会が発行する『霧生関』に、富太郎が佐川町で結成された「同盟会」や「公正社」の役員であったことが紹介されています。

20歳そこそこの若き日の富太郎は、明治15年6月に結成された「公正社」の「副社長」兼「書記」として会員名簿に名前を連ねています。

「公正社」は「学術ヲ研究シ知識ヲ交換シ以テ社会ノ改良ヲ謀ルヲ主義ト」して、論語などの漢学や洋学について研究していたことが特徴的です。

しかし、実際の活動の内容はそれだけではありませんでした。「公正社」の社長であった西村躍から、富太郎の友人であった堀見熙助に宛てた当館蔵の書簡の中に



堀見潜齋宛 牧野富太郎筆葉書  
堀見家資料 当館蔵

「公正社員牧野昨日大ニ北原警部(佐川ヅメ)ヲヤリコメタリ快哉く」(明治15年6月18日付)

と気になる内容が出て来ます。

この頃、佐川町周辺の自由民権運動は盛況で、義憤に駆られた若者達が多数集まり、「演説」「懇親会」(＝政府批判会)を積極的に行いました。「演説」や「懇親会」のあと、冷めやらぬ熱に浮かされ、「夜警察署へ向ッテノ抛石」をしたことが西村からの手紙には記されています。

富太郎がどのように「北原警部」を「ヤリコメタ」のか。詳しい背景はわかりませんが、「社会ノ改良」を志した富太郎青年の熱く激しい胸の内の一部が窺えるようです。

#### ■植物が「つなぐ」友情

富太郎はやがて植物学研究に注力したいと自由民権運動から離脱することになります。そのあとも富太郎と堀見

家の交流は、睦まじくつづいていくようです。時に富太郎から旅行に誘うこともありました。

堀見家は県から高岡郡勸業周旋係に委嘱されるなど興農にも熱心な豪農で、富太郎とは「植物を愛する想い」を共有していたようです。

堀見家資料の中には、富太郎からの植物の種を送ってほしいという葉書や富太郎が即席で描いたとおぼしき植物図が見られます。

富太郎は全国の植物採集を行ったことと有名ですが、その研究活動の影に、堀見家のような協力者がいたからこそ、であったのかもしれない。

#### 【参考文献】

水野進「牧野富太郎博士と佐川町」『霧生関 37号』佐川史談会 平成13年  
『日本植物学の父 牧野富太郎』佐川町立青山文庫 平成24年

## 展覧会「幕末土佐の天才 絵師 絵金」をみて 那須 望

あべのハルカス美術館（大阪市）で絵金展が開かれました（4月22日～6月18日）。絵金をテーマにした大規模な展覧会は、県外では約半世紀ぶり。私は開幕翌日に足を運びました。

今回の展示は、章構成に応じた3つの見どころがありました。

ひとつは絵金の代表作であり、高知県保護有形文化財に指定されている香南市赤岡町の芝居絵屏風。展示ケースにずらりと並び、圧巻の見ごたえでした。残虐や血みどろと評されてきた絵金ですが、登場人物の悲哀の表現、インパクトの強い劇的な場面構成など、見れば見るほど絵金の絵師としての力量を存分に味わえます。

2つ目は、高知市朝倉神社の絵馬台や香美市八王子宮の手長足長絵馬台の再現展示。芝居絵屏風は、土佐の祭りのなかで生まれ、いまも生き続けます。絵馬台の再現によって、観覧者は実際の祭りを疑似体験できるのです。単に美術作品として絵金を楽しむのではなく、土佐の地域文化として絵金を感じてもらうための工夫が凝らされていました。

3つ目は、河田小龍筆の横幟（当館

蔵）の全場面展示。この横幟は紙製で、かつては家の塀に張り巡らせたと伝わり、縦の長さ1.3

メートル、全長約8.5メートルの大作。歌舞伎などの演目である「義経千本桜」「加賀見山田錦絵」の5場面が描かれています。過去に当館や県立美術館で展示した際には、その長さゆえ一部分しか出すことができませんでしたが、本展では、全場面を広げて展示（前期展示のみ）しており、迫力満点でした。

それから個人的にうれしかったのは音声ガイドが中村七之助さんだったこと。時折、芝居絵屏風に描かれた歌舞伎の演目のセリフを舞台さながらの抑揚で読んでくれたり、七之助さんから見た絵金の楽しみ方を話してくれたたり。ファンならずとも楽しめる内容で目も耳も大満足の展覧会でした。



土佐の祭りのコーナーは撮影可。テレビモニターでは、実際の祭りの映像も流れていた。

## 新任のご挨拶 館長 竹崎 恵彦

この5月から館長を務めさせていただいております。よろしくお願ひ申し上げます。

就任して間もなく、開館記念日である5月3日には「れきみんの日」を開催し、多くの方々にご来館いただきました。心からお礼を申し上げます。

当館には、原始・古代から現代に至る高知県の歴史と文化を歴史・考古・民俗・美術工芸等の資料により紹介する「総合展示室」、また、岡豊城の城主であった長宗我部氏に関する資料を紹介する「長宗我部展示室」があります。そして、その時々々に特定のテーマを取り上げた「企画展」や「コーナー展」を開催していますし、「長宗我部フェス」など地域の団体の皆様と連携したイベントも行っています。さらには、岡豊山歴史公園では、四季折々の自然を満喫することができます。

このように当館は、歴史好きの方、長宗我部ファンの方はもちろん、多くの皆様のご期待に応えることのできる施設であると思っております。

職員一同、皆様のお越しをお待ちしております。

## 新任のご挨拶 副館長 松田 直則

この4月から、副館長を務めさせていただいております。よろしくお願ひいたします。

私は、中世考古学が専門分野で特に戦国時代の城郭について勉強しております。

当館は、岡豊山の一角に立地していますが、歴史公園として整備される前に行われた発掘調査を担当させていただきました。その時、詰（本丸）の曲輪から礎石建物跡や瓦が出土し、特に瓦の背面に「天正三年」とヘラ描きされた文字を見つけて、長宗我部元親が土佐を統一した年であることに感動し興奮したことを覚えております。

この発見が、高知県の城郭考古学研究の原点ともなっており、その後多くの城跡の発掘調査が実施され、土佐の山城の様相も徐々にわかってきました。

当館は、各時代の総合展示や長宗我部氏を紹介しています。今後さらに研究を進めていき、魅力ある岡豊城跡や土佐の歴史を全国に発信していける展示をしていきますので、皆様のご来館をお待ちしております。



## 設備改修のため 臨時休館

9月19日(火)～令和6年3月28日(木)(予定)  
岡豊山歴史公園(国史跡・岡豊城跡、山村民家)  
は、休館中もご利用いただけます。

- 岡豊山スタンプラリー  
「らんまんバージョン」  
9月19日(火)～  
令和6年3月28日(木)



岡豊山歴史公園内のチェックポイントを巡って、今回限定、「らんまん」デザインのスタンプを集めよう！コンプリートの方には、山村民家に記念品をプレゼントします。

- 山村民家 いろいろの火焚き  
毎月第3土曜日の9:30～12:00

登録有形文化財、旧味元家住宅主屋で定期的に囲炉裏へ火を入れます。パチパチと薪がはぜる音を聞きながら、暖かい火を囲みませんか？



カルチャー  
サポーター  
の福井さん  
(向かって左)  
と村田さん  
(右)



## 『土佐のまほろば歩く。2023』 —長宗我部氏と国史跡・岡豊城跡—

今年は岡豊城跡・  
国史跡指定15周年  
です。  
まだまだある岡豊  
城跡の見どころを  
たっぷりご紹介し  
ます。



- ③10月11日(水)  
戦国武将と癒しの地・土佐国分寺
- ④11月23日(木・祝)  
じっくり歩けばまだある見どころ①・とことん岡豊城跡
- ⑤12月8日(金)  
じっくり歩けばまだある見どころ②・岡豊城跡とその麓
- ⑥※特別編 令和6年1月21日(日)  
国史跡・岡豊城跡の山城遺構よ、よみがえれ！  
特別編では清掃活動を行います。※あれば掃除道具  
をご持参ください。
- ⑦令和6年3月20日(水・祝)  
ガイドにおまかせ・タツクリ岡豊城跡  
参加費：各500円 ※③のみ800円 定員：各20名  
ガイド：土佐のまほろば地区振興協議会
- 申込開始： ③～⑤ 8月1日(火) 9:00～  
⑥特別編・⑦ 10月3日(火) 9:00～



## 第18回岡豊山フォトコンテスト 作品募集のお知らせ

「岡豊山の春夏秋冬」をテーマに、四季折々の自然豊かな岡豊山で撮影・岡豊山を撮影した写真を募集します！今回は例年の各賞に加え、高知県観光博覧会「牧野博士の新休日～らんまんの舞台・高知～」が開催されていることから、岡豊山の樹木や草花を撮影した作品の中から「らんまん賞」も予定しています。応募作品の中からオリジナルカレンダーを作成予定です。すてきな作品をお待ちしています。



優秀賞「パールレキミン」山中正光



優秀賞「気配」太田和子

※写真は第17回入賞作品



スマホ大賞  
「朝桜に染まる山村民家」  
梅木康志



最優秀賞「春惜しむ舞」吉村純三

### 募集要項

※詳しくはHP、チラシ等でご確認ください。

- 募集期間：7月2日(日)～10月22日(日)17:00
- 募集内容：岡豊山で撮影した・岡豊山を撮影した写真で未発表の作品。
  - ①一般部門 1人1点
  - ②ケータイ・スマホ部門 1人2点まで
- 応募方法：
  - ①高知県立歴史民俗資料館に持参もしくは郵送
  - ②ホームページもしくはQRコードからメールフォームで
- 作品展示は令和6年3月29日(金)～5月26日(日)を予定。  
来場者の投票で「みんなのお気に入り賞」も選びます。

## れきみん！ サマーミュージアム2023 開園！おもちゃの動物園

7月27日(木)・8月13日(日)・8月26日(土)

夏休みの期間にあわせて、企画展に関連した催しや、お子さんも楽しめるワークショップを開催します。まんまる動物やポップアップカードづくり、クイズ、五色百人一首、大道芸など盛り沢山！

## 第14回 長宗我部フェス 11月18日(土) 開催決定！

### 岡豊城跡・国史跡指定15周年記念事業 令和6年1月14日(日) 開催予定

詳細は決まり次第「広報なんこく」、南国市ホームページ等でお知らせします。

## 土佐のまほろば歩く。2023

—長宗我部氏と国史跡・岡豊城跡—③～⑦

申込開始：③～⑤ 8月1日(火) 9:00～  
⑥特別編・⑦ 10月3日(火) 9:00～  
詳細は本紙7頁をご覧ください。

## 臨時休館 館内特別清掃のため 7月3日(月)

館内設備改修工事のため

9月19日(火)～令和6年3月28日(木)(予定)

岡豊山歴史公園(国史跡・岡豊城跡、山村民家)は、休館中もご利用いただけます。

●岡豊山スタンプラリー「らんまんバージョン」  
9月19日(火)～令和6年3月28日(木)

●山村民家 いろいろの火焚き  
毎月第3土曜日 9:30～12:00  
7月15日、8月19日、9月16日、10月21日、11月18日、  
12月16日、令和6年1月20日、2月17日、3月16日

ご来館の際は、感染症対策にご協力ください。

岡豊風日(おこふうじつ) 第120号  
令和5年(2023)6月20日  
編集・発行 (公財)高知県文化財団  
高知県立歴史民俗資料館  
〒783-0044 南国市岡豊町八幡1099-11  
TEL 0888-862-2211  
FAX 0888-862-2110

開館時間 午前9時～午後5時  
休館日 年末年始12月27日～1月1日  
臨時休館することがあります

観覧料 (通常展)大人(18才以上) 470円  
団体(20名以上) 370円  
(企画展)通常展示込み 520円  
団体(20名以上) 420円

無料・高校生以下、高知県及び高知市長寿手帳  
所持者、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者  
保健福祉手帳・戦傷病者手帳・被爆者健康手帳所  
持者とその介護者(一名)

印刷・川北印刷株式会社

https://www.kochi-bunkazaidan.or.jp/~rekimin/  
Eメール: rekimin@kochi-bunkazaidan.or.jp

## 企画展 おもちゃの 動物園

北海道の木彫りの熊や高知県の鯨車などその土地ならではの動物、来年の龍をはじめ干支の動物も勢ぞろい！当館蔵の郷土玩具コレクションの中から、動物をモチーフにした土人形や張り子などを展示します。



### 会期中まいにち

- 動物園カレンダーのみやげもん
- れきみんZOOギャラリー
- どこにいるかな？動物地図パズル
- おもちゃの動物クイズ

### 企画展関連催し

※すべて要観覧券  
ミュージアムトーク以外は要事前予約

- 講演会「動物の郷土玩具—生息地とご利益—」  
8月20日(日) 14:00～15:30  
講師：中村浩訳氏(日本郷土玩具の会会長) 先着100名
- ワクワクワーク「土佐和紙漆喰張り子 辰の絵付け」  
①7月22日(土) 14:00～15:30 ※定員に達しました  
②7月23日(日) 10:00～11:30 ※残りわずか  
講師：草流舎 田村多美氏 各回定員20名、参加費1,500円
- ワクワクワーク「郷土玩具の動物はんこをつくろう！」  
8月6日(日) 13:30～15:30  
講師：asakozirusi 尾崎浅子氏 定員15名、参加費1,200円
- ミュージアムトーク  
①7月22日(土)、②8月5日(土)、③8月13日(日) 各回13:30～13:45

### 企画展 おもちゃの動物園 同時開催

### コラボ展 動物玩具を描く

asakozirusi 尾崎浅子/  
梶原希美/横江孝治

県内作家による郷土玩具の動物の絵を展示します。

◀横江孝治画(モチーフ:安芸土鈴 鹿)

## 第18回岡豊山フォトコンテスト作品募集

募集期間：7月2日(日)～10月22日(日)17:00まで  
詳細は本紙7頁をご覧ください。

## 第11回旧大柝高校民俗資料 一般公開 11月開催予定